

増林在住の「あの人、この人と」題し、「ボランテイア雑感」



飯田 弥寿嗣

周囲を美しい川面にかこまれ、緑豊かな
此地「ましばやし」の地に生れ育つて七十
八年、私は駆け出しの頃地元小学校に勤務
地域の皆さんに大変お世話になったもので
すが、その後各地の小学校や県教委等を経
て、地元越谷青年の家に着任したのは、そ
れから二十五年も後のことでした。久しぶ
りに地域の青年諸君と楽しい交流がもてた
のも束の間、転勤、その後再び地元東中学
校長としてお世話になることができ、故郷
の人々の暖い人情に包まれた三年間、いた
ずれも人間性豊かな地域の人々や生徒諸君

に恵まれ支えられて、無事定年退職するこ
とができました。退職後は長い間お世話に
なつた皆さんに少しでもご恩返しのため、
で、ロータリークラブ、日赤奉仕団、退職
校長会、地元有志の一八会等、奉仕活動の
お手伝いをさせて頂いております。
ここで、特に日赤関係の派遣により、昨
年秋、金沢市で開催された「全国ボランテ
ィア・フェスティバル」に参加する機会に
恵まれましたので、その時の感想の一端を
述べ、私の責めを塞がせて頂きたいと思ひ
ます。

埼玉から参加した一行四名は、大会前日
の夕方早く現地に到着、折角の機会なので
市内の名所旧跡を訪ねてみることにしまし
た。城下町特有の迷路のような裏道を通り
抜け、旧武家屋敷近くまで辿りついた時、
後から来た買い物途中らしき中年婦人から
「見学だったら私の後に付いてきなさい」と
言う優しい言葉につい甘えて、のこのこと
言いついていったものです。婦人は先頭に立つ

て、「旧足軽屋敷」に案内、当時の足軽生活
の説明は誠に要を得たものでした。
その後何となく婦人が先に立つて案内す
るがままに、武家屋敷跡や家老屋敷、堀割
りなどの説明に自然と引き込まれながら、
最後には大分離れた前田利家を祭つた尾山
神社から近江市場まで案内され、ホテルへ
の近道まで教えられ別れを告げたのです。
別れ際に「明日は必ず金沢城と兼六園を見
て下さいよ」と言う言葉が印象的でした。
この間軽やかな足取りでさわやかな説明を
交え、ごく自然体で案内してくれました。
始めは単なる気まぐれか、プロ案内人の押
し付け行為かとも勘ぐりましたが、次第に
婦人の熱心な説明に遠方よりの外来者に対
する思いやりと真心を感じ深く心をうたれ
たものでした。そして別れ際の言葉には自
ずから郷土愛と誇りが感じられ、流石金国
大会開催地ならではの思いを深めること共
に、本大会全般を通して又、この大会のメ
インテーマ「来まつし石川、つなげよう心
の輪、あんやとね、あつたかボランテイ
ア」の言葉の中からも北陸路の人々の人情
味溢れる豊かな人間性に接した思いで、ほ
のぼのとした心で帰つてきました。

この地は又、平成九年に発生したナホト
カ号重油流出事故の被災地でもあり、当時
全国から寄せられた貴重なボランテイア活
動への深い思いが日本海沿岸の人々の心の
中に刻み込まれており、日常生活の中で自
然と行動に表われるのではないかと推察
してみました。